

より開かれた議会を目指して

塩尻市議会 第7回議会報告会

「塩尻の将来を語り合う会」を開催しました

議会報告会の概要を掲載します

10月2日、3日に「塩尻の将来を語り合う会」と題して第7回議会報告会を開催しました。会場は、市民交流センターと広丘支所の2カ所です。計3回行い、延べ53名の方のご参加をいただきました。

今回は、平成26年度決算について、新体育館について議会報告を行い、市民の皆さんと意見交換をしました。

平成26年度の決算については、歳入歳出と今の市の財政状況を総務生活委員会副委員長から報告をし、新体育館については、平成17年から、今年度の9月定例会で建設を行うことが決定するまでの経過、議会での検討の様子、審査内容について、新体育館に関する特別委員会委員長から報告をしました。

その後、それぞれの日程ごとにテーマを設け、グループディスカッションを行いました。

■第7回議会報告会日程

開催日	時間	場所	ディスカッションテーマ
10月2日(金)	午前10時00分～11時30分	市民交流センター	子育てしやすいまち日本一を目指して
10月2日(金)	午後7時00分～8時30分	市民交流センター	1 子育てしやすいまち日本一・人口増を目指して 2 塩尻ブランドの生かし方
10月3日(土)	午後7時00分～8時30分	広丘支所	1 子育てしやすいまち日本一・人口増を目指して 2 広丘(北部圏域)のまちづくり

質疑応答

「新体育館について」

問 合併特例債はどのくらい出るものなのか。

答 体育館建設について、合併特例債23億8千500万円を借りることになるが、そのうち17億5千700万円が国から交付される額になる。

問 維持管理費はどうか。

答 新体育館は約6千800万円の予定。今の体育館は約900万円である。20年間で2つを合わせて積み上げると約15億円になる。

問 多くの市民の体力向上に寄与できる体育館にしてほしいという意見があったと思うが、若い方や一部の人だけが使うのではなく、健康寿命を延ばすような運動ができる高齢者の健康づくりの場として



設計をしてほしい。

答 今回建設する体育館では、高齢化社会を迎える中で、高齢者が健康に過ごしていただくよう健康寿命を延ばすことを主眼において基本コンセプトを設定していく。基本コンセプトは市民の皆さんにも公開し、いろんな意見をいただき市民に愛される体育館にしていかなければと考えている。

問 広丘ふれあいセンター周辺も含めた道路整備がしっかりとできれば、信州スカイパークのようにウォーキングができるようになる。体育館建設と道路整備を結びつけて考えてほしい。

答 区画整理事業と一体的に連続性を持たせられるよう委員会で意見を出しているのをご理解願いたい。

